

朝来市景況調査書

令和3年度 第3四半期

(調査対象：令和3年10月～12月)

朝来市商工会

令和4年1月

【目次】

1. 景況調査について.....	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	4
3. 業種ごとの集計	4
①建設業（有効調査書数：27件）	5
②製造業（有効調査書数：35件）	7
③小売業（有効調査書数：41件）	10
④サービス業（有効調査書数：66件（内、飲食店：16件、宿泊業7件））	13
（参考文献）	19

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10件	20%
不変	25件	50%
悪い	15件	30%
合計	50件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間(R3. 10~12月)における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	246	396	99	138
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	92	84	74	145
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	27	35	41	66

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

◆令和3年度調査からの変更点◆

<①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施しておりましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

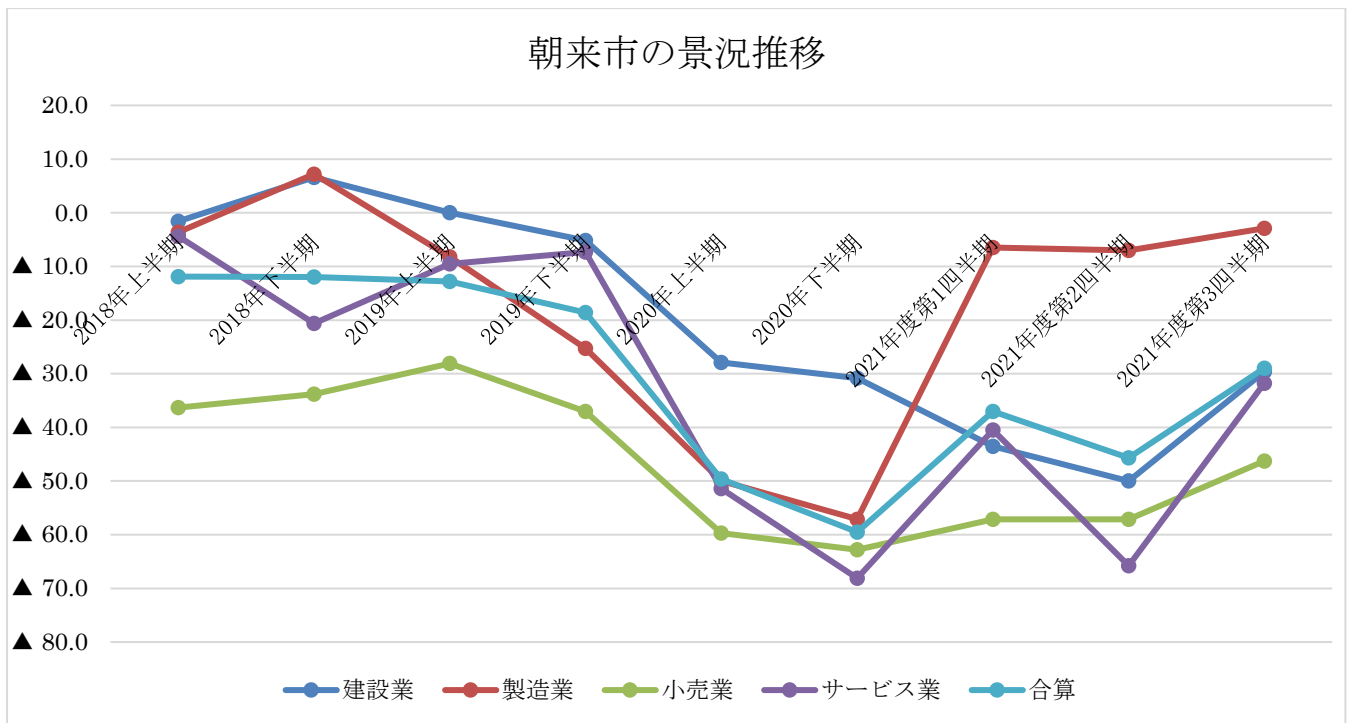
<②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認ください。

<③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

2. 朝来市の景況推移



	2019年 下半期 (R1. 7~9月)	2020年 上半期 (R2. 1~3月)	2020年 下半期 (R2. 7~9月)	2021年度 第1四半期 (R3. 4~6月)	2021年度 第2四半期 (R3. 7~9月)	2021年度 第3四半期 (R3. 10~12月)
建設業	▲ 5.2 (58件)	▲ 27.9 (48件)	▲ 30.8 (39件)	▲ 43.5 (23件)	▲ 50.0 (22件)	▲ 29.6 (27件)
製造業	▲ 25.3 (79件)	▲ 50.0 (53件)	▲ 57.1 (64件)	▲ 6.5 (46件)	▲ 7.0 (43件)	▲ 2.9 (35件)
小売業	▲ 37.0 (81件)	▲ 59.7 (78件)	▲ 62.8 (81件)	▲ 54.3 (46件)	▲ 57.1 (52件)	▲ 46.3 (41件)
サービス業	▲ 7.3 (110件)	▲ 51.4 (125件)	▲ 68.1 (120件)	▲ 42.3 (78件)	▲ 65.8 (74件)	▲ 31.8 (66件)
合算	▲ 18.6 (328件)	▲ 49.6 (304件)	▲ 59.5 (304件)	▲ 36.8 (196件)	▲ 45.7 (191件)	▲ 29.0 (169件)

(※回答数 177 件、うち業況未回答 8 件)

直近 6 回の調査における「業況 (自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値は D. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

9 月末で緊急事態宣言が解除され、移動や外出の制限も緩和されたことからサービス業を中心に D. I. 値が上昇しています。一方で原油価格の高騰から燃料費、原材料費などに影響を与え、厳しい状況の企業も増えています。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：28件）

○昨年(10～12月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(内1件は未回答)

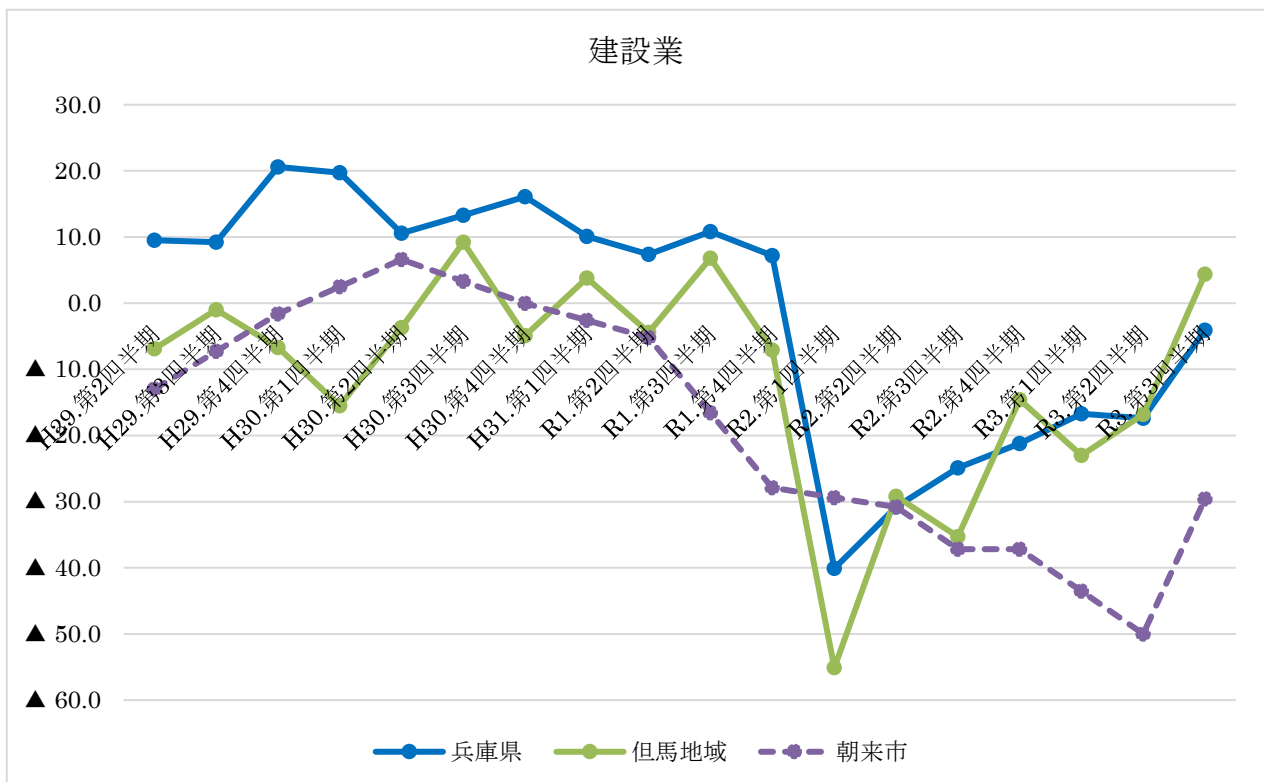
	件数	構成比
好転	2件	7.4%
不変	15件	55.6%
悪化	10件	37.0%

「不変」と回答した事業者が最も多く、また前回調査では無かった「好転」の回答も見られました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲4.1ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	4.4ポイント
朝来市	▲29.6ポイント

差は見られるものの、兵庫県全域、但馬地域、朝来市と各地域で改善の傾向にあります。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

全ての地域(県全域、但馬、朝来市)で今回(令和3年10月～12月)の業況D.I.が今年度で最も高く、但馬地域ではプラスに転じています。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期
1 位	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難	材料等仕入単価の上昇
2 位	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難
3 位	人件費以外の経費の増加	材料等仕入単価の上昇	人件費の増加	従業員の確保難

問題点として「材料等仕入単価の上昇」が「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」を上回っており、原油価格や燃料費、各原材料高騰の影響を大きく受けていることが分かります。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	11 件
現状維持	17 件
事業承継への取り組み	6 件
廃業を検討	0 件

※複数回答あり

・廃業を検討（0 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	0 件

②製造業（有効調査書数：39件）

○昨年(10～12月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(内4件は未回答)

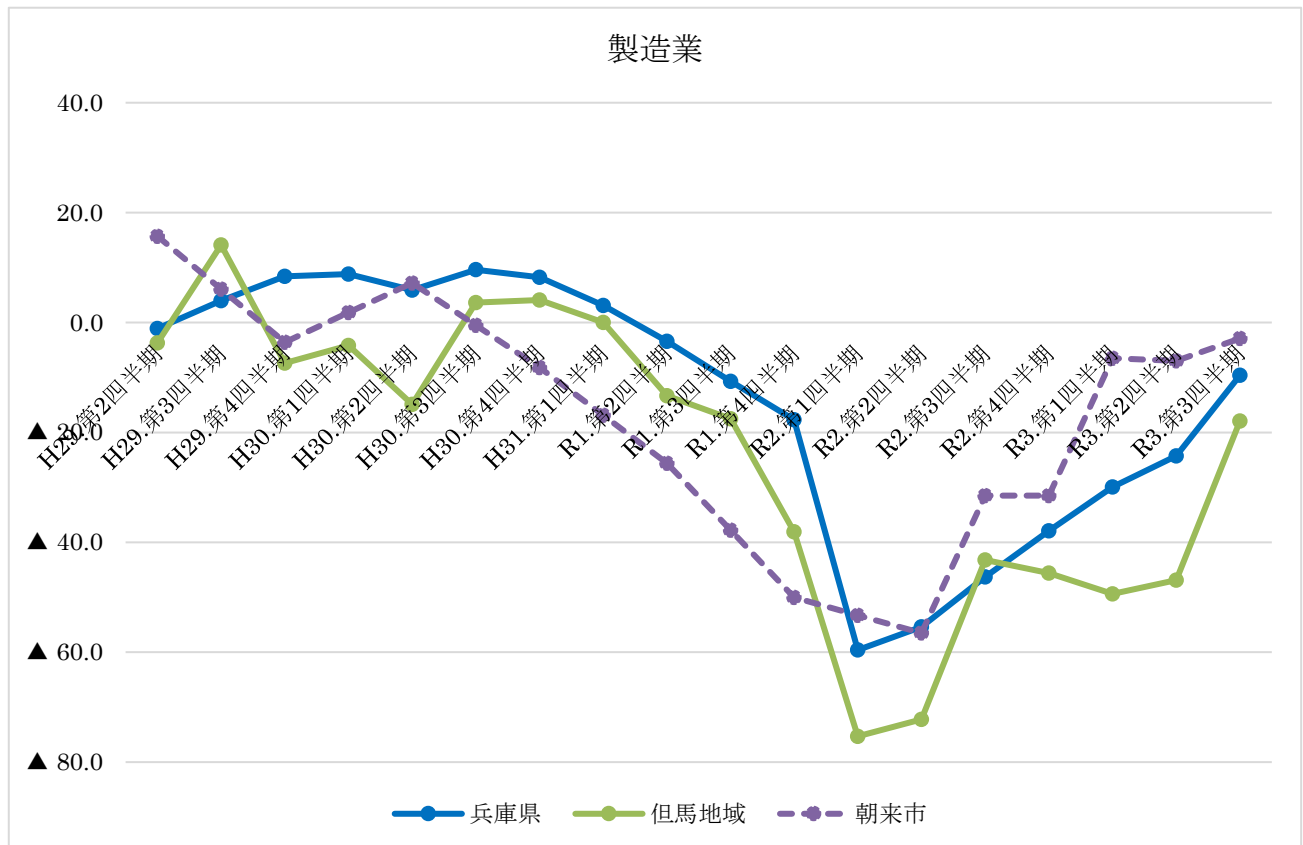
	件数	構成比
好転	9件	25.7%
不変	16件	45.7%
悪化	10件	28.6%

前回調査より D.I. 値は若干上昇していますが、業種ごとに好転・悪化の差が大きい点も続いています。

地域	D.I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲9.6ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲17.9ポイント
朝来市	▲2.9ポイント

兵庫県全域、但馬地域でも改善傾向にあり、地域ごとの差も小さくなっています。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

令和3年度は全地域でD.I.値が上昇の傾向を見せており、特に今回調査では但馬地域が大きく改善しています。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期
1 位	需要の停滞	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
3 位	材料等仕入単価の上昇	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞

前回、前々回調査と同じ結果となっていますが、10 月以降は原材料価格の高騰が大きな問題として影響を与えています。人材確保が 2 番目、需要停滞が 3 番目の問題となっていることから、今までの調査同様に製造する商品によって差が出ていると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	16 件
現状維持	21 件
事業承継への取り組み	6 件
廃業を検討	2 件

※複数回答あり

・廃業を検討（2 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	2 件

○製造業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）※2件未回答

	件数	構成比
好転	5件	41.7%
不変	4件	33.3%
悪化	3件	25.0%
D.I.値	—	16.7ポイント

・食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）※1件未回答

	件数	構成比
好転	1件	12.5%
不変	5件	62.5%
悪化	2件	25.0%
D.I.値	—	▲12.5ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種のD.I.値を算出いたしました。前回調査よりD.I.値の改善が見られますが、食品に関わる製造業はマイナス値が継続しており、感染拡大前と比較し厳しい状況が続いています。

また少数の回答ですが、他製造業は以下の通りとなっています。

- ・繊維製品（縫製、紙器、印刷業）製造業…「好転」1件、「不変」1件、「悪化」1件
- ・畳等生活雑貨製品製造業…「不変」1件、「悪化」2件

③小売業（有効調査書数：41件）

○昨年（10～12月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

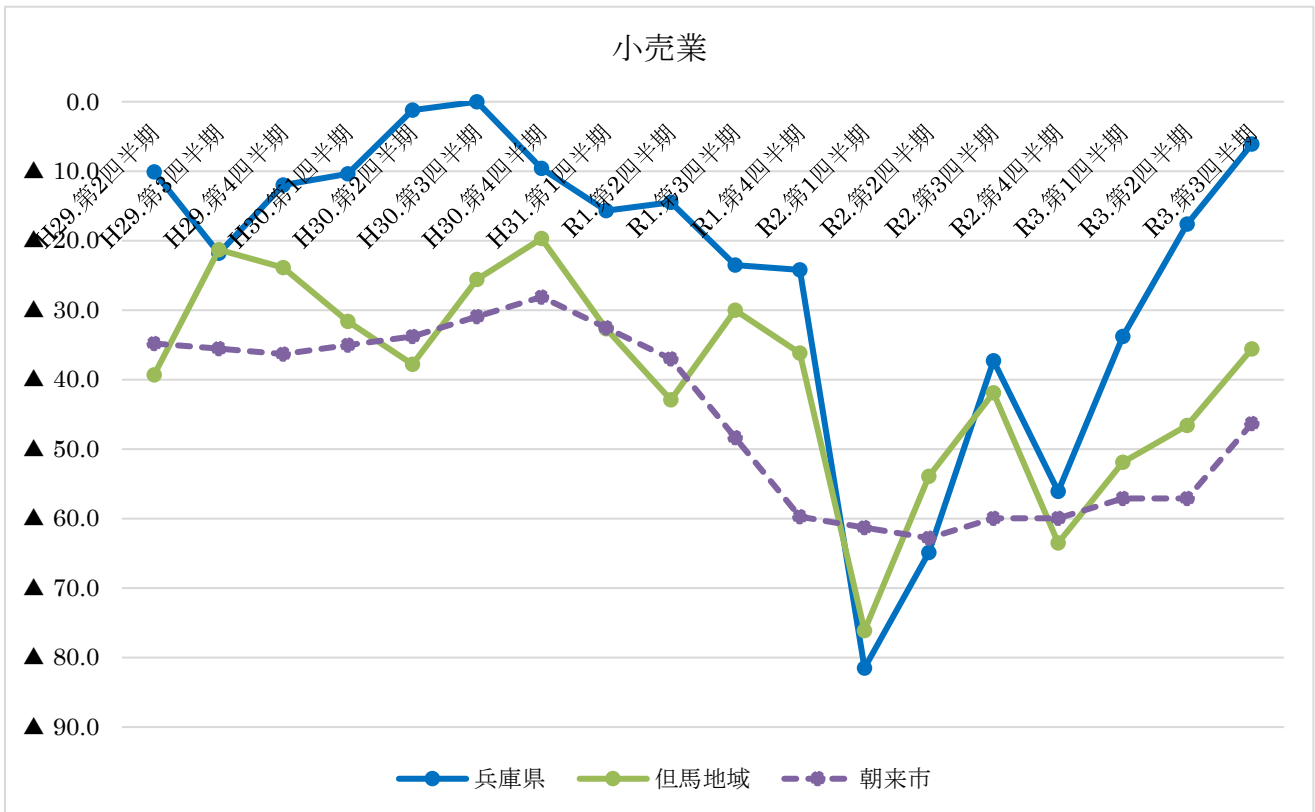
	件数	構成比
好転	4件	9.8%
不変	14件	34.1%
悪化	23件	56.1%

前回調査より改善を見せており、第一四半期を上回る結果となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲6.1ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲35.6ポイント
朝来市	▲46.3ポイント

前回調査より改善していますが業況厳しく、但馬地域と朝来市は全業種で最も低い数値となっています。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期（9～12月）、R3年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域では第一四半期以降改善してきています。但馬地域、朝来市ともに D. I. 値は前四半期比で約 10 ポイント前後の増加となっており、回復の兆しが見られます。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応
2 位	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞
3 位	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化

経営上の抱える問題について、4 回の調査とも上位回答が同じ結果となりました。コロナ禍を通じて消費者の求める商品の変化、老朽化の改善だけでなく、感染対策を踏まえた店舗づくりなど、課題は多いと考えられます。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	12 件
現状維持	20 件
事業承継への取り組み	10 件
廃業を検討	5 件

※複数回答あり

・廃業を検討（5 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	2 件

※内 2 件は未回答

○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・織物・衣服・身の回りの品、などの小売業

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	2件	20.0%
悪化	8件	80.0%
D.I.値	—	▲80.0ポイント

・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	2件	18.2%
不変	2件	18.2%
悪化	7件	63.6%
D.I.値	—	▲45.4ポイント

「織物・衣服・身の回りの品、などの小売業」は前回調査とほぼ変わらず、飲食料品に係る小売・卸売業は緊急事態宣言解除の影響もあり、約40ポイントの上昇を見せましたが厳しい数字を見せています。

また少数の回答ですが、他小売業は以下の通りとなっています。

- ・燃料小売業…「不変」1件、「悪化」1件
- ・写真機・時計・眼鏡小売業…「不変」1件、「悪化」1件

④サービス業（有効調査書数：69件）

○昨年(10～12月)と比較して、今期の業況はいかがですか？（内3件は未回答）

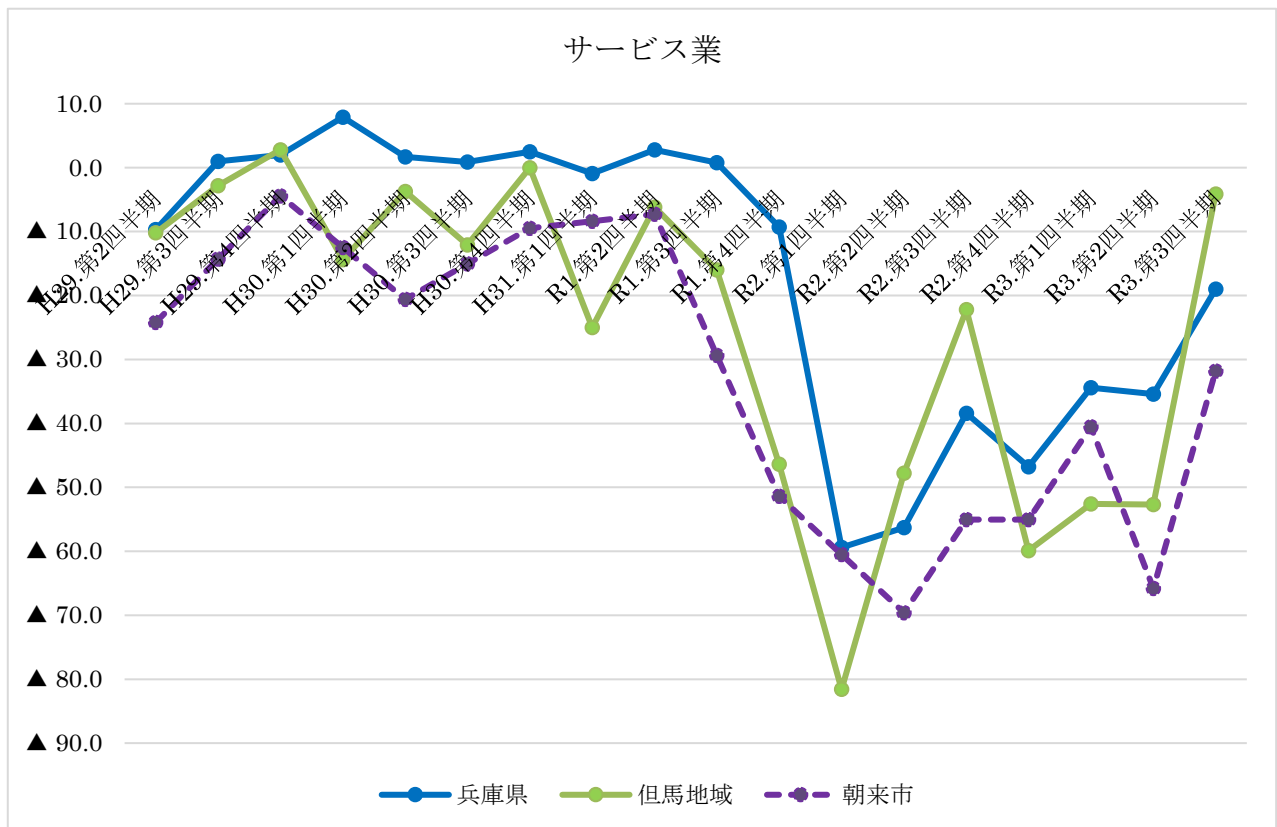
	件数	構成比
好転	6件	9.1%
不変	33件	50.0%
悪化	27件	40.9%

前回調査と比較し、悪化と回答した事業者が減少し緊急事態宣言解除が少しずつ影響してきていると考えられます。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲19.0ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲4.1ポイント
朝来市	▲31.8ポイント

全地域でD. I. 値の改善が見られ、特に但馬地域での回復幅が大きくなっています。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

10月に緊急事態宣言が解除されたため、全体のD.I.値で見た場合改善が見られます。全ての地域で昨年の同時期(令和2年10月～12月)を上回っています。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化
2 位	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞	材料仕入単価 の上昇
3 位	店舗施設の老朽化	材料仕入単価 の上昇	材料仕入単価 の上昇	利用者ニーズの 変化への対応

「材料仕入単価の上昇」が2番目に多い課題として集まっており、原油価格や材料費の高騰の影響が大きく表れていると考えられます。「需要の停滞」は今回上位にありませんが、1月に感染が再拡大しており、今後の見通しも厳しいと思われます。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業5年未満	7件
売上・事業拡大	26件
現状維持	30件
事業承継への取り組み	15件
廃業を検討	5件

※複数回答あり

・廃業を検討（5件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2件
事業譲渡なども、全く考えていない	2件

※内1件は未回答

○サービス業種ごとのD.I.値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・飲食店 ※2件未回答

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	6件	42.9%
悪化	8件	57.1%
D.I.値	—	▲57.1ポイント

・宿泊業

	件数	構成比
好転	2件	25.0%
不変	3件	37.5%
悪化	3件	37.5%
D.I.値	—	▲12.5ポイント

・洗濯・理容・美容・浴場業 ※1件未回答

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	4件	40.0%
悪化	6件	60.0%
D.I.値	—	▲60.0ポイント

・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	2件	20.0%
悪化	8件	80.0%
D.I.値	—	▲80.0ポイント

飲食店と宿泊業は改善の傾向がありますが、今年と同様にコロナ禍にあった昨年の同時期（10月～12月）と同じ、または悪化したとの回答も見られます。特に運送業をはじめとして、燃料費や原材料費の高騰を受けている事業所も多いと考えられます。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	1	0	0	0	1
30代	0	0	1	3	4
40代	6	7	1	12	26
50代	10	7	14	14	45
60代	9	16	10	18	53
70代以上	2	9	15	22	48

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	5	9	11	12	37
補助金・助成金の相談	16	16	26	35	93
各種認定について	8	1	4	5	18
IT化について	7	3	7	10	27
税務・労務について	3	4	5	9	21
特に相談等は無し	6	15	6	16	43

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	0	1	1	7	9
売上・事業拡大	11	16	12	26	65
現状維持	17	21	20	30	88
事業承継への取り組み	6	6	10	15	37
廃業検討	0	2	5	5	12

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	0	1	2	3
事業譲渡なども、全く考えていない	0	2	2	2	6

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	5	10	10	29	54
1人～5人	12	8	20	20	60
6人～10人	4	3	4	5	16
11人～20人	2	2	4	4	12
21人以上	5	12	1	3	21
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	15	13	8	14	50
適正人数である	6	12	18	25	61
雇い入れが過剰である	1	0	1	0	2
雇用していない・しない	6	9	8	22	45
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	0	0

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	11	12	17	30	70
1人～5人	15	17	14	27	73
6人～10人	0	3	3	5	11
11人～20人	0	3	4	1	8
21人以上	1	1	0	1	3
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	2	7	6	13	28
適正人数である	15	19	11	26	71
雇い入れが過剰である	0	0	1	0	1
雇用していない・しない	10	10	17	27	64
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	0	0

○令和3年10～12月と前年同期(令和2年10～12月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	2	9	4	6	21
	同じ	15	16	14	33	78
	悪化	10	10	23	27	70
売上	増加	3	1	1	1	6
	同じ	16	2	0	9	27
	減少	8	1	0	2	11
販売価格	増加	2	1	0	1	4
	同じ	19	0	1	0	20
	減少	6	3	0	3	12
仕入価格	増加	10	1	0	0	11
	同じ	7	2	0	0	9
	減少	10	1	0	1	12
資金繰り	好転	1	0	0	0	1
	同じ	21	0	0	1	22
	悪化	4	0	0	0	4

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	1	2	5	3	11
新規参入業者の増加	3	0	4	12	19
利用者ニーズの変化への対応	3	5	18	19	45
店舗施設の老朽化	2	9	14	29	54
人件費の増加	5	5	8	8	26
人件費以外の経費の増加	9	10	8	12	39
利用料金の低下・上昇難	1	0	3	10	14
材料等仕入単価の上昇	17	26	8	28	79
金利負担の増加	0	0	0	0	0
事業資金の借入難	3	0	3	4	10
従業員の確保難	11	18	8	12	49
熟練技術者の確保難	12	5	4	11	32
需要の停滞	2	13	17	16	48
その他	2	1	4	4	11

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org